

UPS 管理システム

**BPSPOC- II**  
**COMBINATION**  
インストールガイド

TMR-06884-001

NEC フィールディング

※ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ その他の製品名、社名は各社の登録商標または商標です。

※ Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

### おことわり

- (1) 本ソフトウェアおよび本書の一部または全部を、許可なく複製、転載することは、かたくお断りいたします。
- (2) 本製品の内容につきましては万全を期して検査を行っておりますが、万一、お気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (3) 本製品の内容は、予告なく変更される場合があります。
- (4) 本製品の運用に際しては、本取扱説明書をよくお読みになって、機能を理解した上で御使用ください。本製品を使用したことによる結果につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

# 目次

1. はじめに.....	1
1.1 概要.....	1
1.2 管理対象となる装置.....	1
1.3 UPS管理システムの主な機能.....	2
1.4 動作環境.....	3
2. システム構成.....	5
2.1 ハードウェア.....	5
2.2 ソフトウェア.....	5
2.3 システム構成に必要な条件.....	5
2.3.1 ネットワーク環境.....	5
2.3.2 運用条件.....	6
2.4 制限事項.....	6
3. インストール.....	7
3.1 インストールを行う前に.....	7
3.1.1 UPS/電源管理ユニットの接続要.....	7
3.1.2 PCの状態確認.....	7
3.2 インストール.....	8
4. システム構成例と設定例.....	11
4.1 構成例.....	11
4.2 設定例.....	12
5. 操作方法.....	14
5.1 起動.....	14
5.2 ユーザモードの切り替え.....	18
5.3 UPS/電源管理ユニットとのアカウント認証.....	19
5.4 管理対象装置の登録.....	22
5.4.1 システムグループ.....	22
5.4.2 UPS/電源管理ユニット.....	23
6. 操作方法の詳細について.....	25

## 1. はじめに

### 1.1 概要

BPSPOC-Ⅱ COMBINATION（統合管理ツール）は、ネットワーク対応された UPS（LAN インタフェースカード）、UPS（UPS サーバ）、BP Power Controller（ネットワーク機能対応電源管理装置。以下、電源管理ユニットという）および、UPS や電源管理ユニットより電源供給されている装置（コンピュータなど）を一括管理するツールです。

### 1.2 管理対象となる装置

#### (1) UPS（LAN インタフェースカード）

当社 UPS に当社 LAN インタフェースカードを装着することで、ネットワーク対応することが可能になります。

#### (2) UPS（UPS サーバ）

コンピュータに BPSPOC-Ⅱ（別売）をインストールし、このコンピュータと UPS をシリアルケーブル（シリアル接続、または接点接続）にて接続し、設定を行うことで UPS サーバを構成できます。UPS サーバコンピュータがネットワーク対応可能な場合には、UPS サーバは管理対象装置となります。

#### (3) 電源管理ユニット（ネットワーク機能対応電源管理装置）

当社の電源管理ユニットを使用すると出力コンセント毎のオン／オフ／リセット制御、シャットダウン制御が行えます。

#### (4) 電源装置と接続する装置

PC、WS およびその他の装置を上記 UPS および電源管理ユニットと接続設定することにより制御対象となります。

本書では、本システムに対応している Windows OS を搭載したコンピュータを「PC」、Linux を含めた主要 UNIX-OS を搭載したコンピュータを「WS」と呼んで区別します。両方を指す場合は、単に「コンピュータ」と呼びます。

文中に LAN インタフェースカードおよび Network Power Manager という表現が出てきた場合は、BPWEB BOARD および BP Power Controller と読み替えてください。

## 1.3 UPS 管理システムの主な機能

### (1) 集中管理

1台のコンピュータから、BPSPOC-IIに対応した全てのUPS、電源管理ユニットおよび、これらに接続されたコンピュータを管理できます。そのため、UPSや電源管理ユニットまで足を運ぶ必要がありません。以下に示す作業、および関連する設定は、全て統合管理ツールにより遠隔から実行できます。

また、UPSや電源管理ユニットはネットワークからのアクセスに対して**ユーザ名**および**パスワード**で認証を行いますので、不正なアクセスを防止できます。

本書では BPSPOC-II に対応した UPS を「UPS」、ネットワーク機能対応電源管理装置 BP Power Controller を「電源管理ユニット」と呼びます。

### (2) スケジュール設定

UPS や電源管理ユニットの出力毎に起動/停止のスケジュールを設定することにより、コンピュータの起動/停止を自動的に行うことができます。スケジュールの情報は UPS および電源管理ユニットが保持しています。

### (3) リモートからの起動停止制御

OS の異常などによりコンピュータに対するリモートアクセスができない場合や、緊急の場合などに UPS の起動/停止や電源管理ユニットの出力コンセント毎のオン/オフ/リセットを行うことができます。

### (4) UPS の状態表示

UPS の各種状態を表やグラフで表示します。

電源管理ユニットに UPS がシリアル接続されている場合は、電源管理ユニットにアクセスすることで UPS の状態を表示することができます。

### (5) プログラムのリモート更新

新しい機能やプロトコルに迅速に対応できるよう、LAN インタフェースカードや電源管理ユニットに内蔵されているプログラムを、ネットワーク経由でリモート更新できます。

はじめに

## 1.4 動作環境

以下に、BPSPOC-II COMBINATION をセットアップし、動作させるために必要な最小限の環境を示します。

コンピュータ本体：AT互換機

CPU：PentiumⅢ700MHz以上

メモリ：256Mバイト以上

ディスク容量：20Mバイト以上の空き容量

ディスプレイ：800×600ドット以上表示可能なディスプレイ

対応OS<sup>(※1)</sup>：Windows 2000<sup>(※2)</sup>

Professional  
Server  
Advanced Server

Windows XP

Professional  
Home Edition  
Professional x64 Edition

Windows Server 2003

Standard Edition  
Enterprise Edition  
Standard x64 Edition  
Enterprise x64 Edition  
Enterprise Edition for Itanium-based systems

Windows Server 2003 R2

Standard Edition  
Enterprise Edition  
Standard x64 Edition  
Enterprise x64 Edition

Windows Vista

Business Edition  
Ultimate Edition  
Enterprise Edition  
Business 64-bit Edition  
Ultimate 64-bit Edition  
Enterprise 64-bit Edition

Windows Server 2008<sup>(※3)</sup><sup>(※4)</sup>

Standard  
Enterprise

Windows Web Server 2008<sup>(※3)</sup><sup>(※4)</sup>

Windows 7 <sup>(※3)</sup>

Professional  
Ultimate  
Enterprise

Windows Server 2008 R2 <sup>(※4)</sup>

Standard  
Enterprise

Windows Web Server 2008 R2 <sup>(※4)</sup>

(※1) 日本語版がインストールされている必要があります。

(※2) **Service Pack 3** 以上

(※3) x86 版, x64 版に対応しています。

(※4) **Server Core** は対象外です。

BPSPOC-II COMBINATION をインストールする場合、PCの管理者特権が必要です。

## 2. システム構成

以下に、UPS 管理システムを構築するためのシステム構成を示します。

### 2.1 ハードウェア

統合管理ツールがインストール可能なパーソナルコンピュータ（「1.4 動作環境」を参照）

### 2.2 ソフトウェア

BPSPOC-II COMBINATION

### 2.3 システム構成に必要な条件

#### 2.3.1 ネットワーク環境

- ・UPS および電源管理ユニットとコンピュータ間がTCP/IPにより、通信できる必要があります。
- ・ネットワーク名を使用する場合、DNS などによりIPアドレスに変換できる必要があります。
- ・UPS および電源管理ユニットのIPアドレスをDHCPで割り当てる場合は、以下の方法でネットワーク名がIPアドレスに変換できる必要があります。

UPS および電源管理ユニットのMACアドレスに対応したIPアドレスをDHCPサーバに登録し、IPアドレスと対応するネットワーク名をDNSサーバ、WINSサーバ、Hostsファイルの何れかに登録する。

- ・NAT/IPマスカレードを使用しているネットワーク環境におきましては、動作を保障しておりません。



## 2.3.2 運用条件

- ・ UPS（LAN インタフェースカード）の状態・計測値履歴を取得するには、UPS に BPSPOC-II をインストールした PC が 1 台以上登録されている必要があります。
- ・ UPS（LAN インタフェースカード）の IP アドレスを変更すると LAN インタフェースカードが再起動します。再起動にかかる時間はおよそ 60 秒程度です。その間 UPS の通信が切断されるため通信異常が発生することがあります。また、その際一切の設定、監視、制御ができません。ただし、LAN インタフェースカードが再起動しても UPS 本体の動作には何も影響はありません。
- ・ 統合管理ツールでは、インストール先の PC のシャットダウン制御は行えません。コンピュータをシャットダウンする場合は、BPSPOC-II のインストールが別途必要になります。

## 2.4 制限事項

- ・ 統合管理ツールで管理できる装置（UPS および電源管理ユニットの合計）は、最大 1000 台です。
- ・ 1 台の UPS（LAN インタフェースカード）、UPS（UPS サーバ）または、電源管理ユニットを同時に管理できるソフトウェア（統合管理ツール、BPSPOC-II または、Web ブラウザによる管理）は、5 つまでです。それ以上の同時管理はできません。
- ・ 1 台の UPS（LAN インタフェースカード）、UPS（UPS サーバ）または、電源管理ユニットが同時に通信できるのは、1 つの統合管理ツール、BPSPOC-II または、Web ブラウザによるアクセスです。複数が同時にアクセスした場合通信に失敗することがあります。その場合、再度アクセスしてください。
- ・ 統合管理ツールと管理対象装置間にファイアウォールが設定されている場合には、その間の使用ポートを遮断しないでください。使用ポートについては、別紙「ユーザガイド」の「付録D 使用プロトコルおよびサーバポート」を参照してください。
- ・ Windows のゲストアカウントでの統合管理ツールの起動は出来ません。

## 3. インストール

### 3.1 インストールを行う前に

#### 注意

- LAN インタフェースカードの UPS への取り付けについては、BPWEB BOARD 取扱説明書をご覧ください。
- 電源管理ユニットの設置については、BP Power Controller の取扱説明書をご覧ください。
- UPS サーバ (BPSPOC-II) のインストールおよび設定については、BPSPOC-II の取扱説明書をご覧ください。

#### 3.1.1 UPS/電源管理ユニットの接続

管理する UPS (LAN インタフェースカード/UPS サーバ (ネットワーク環境を使用するに設定された場合のみ)) または、電源管理ユニットが LAN に接続されていることを確認してください。

#### 3.1.2 PCの状態確認

BPSPOC-II COMBINATION のインストールの前に、以下の項目を確認してください。

- ① インストール時には、一時作成ファイル等により 20MB 程度の容量が必要です。ディスクの容量を十分確保してインストールを実行してください。
- ② SQL サーバなどの DBMS やロータスノーツがセットアップされている場合は、インストールが完了するまで、それらのアプリケーションのサービスを停止してください。

※各アプリケーションの停止手順は、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

## 3.2 インストール

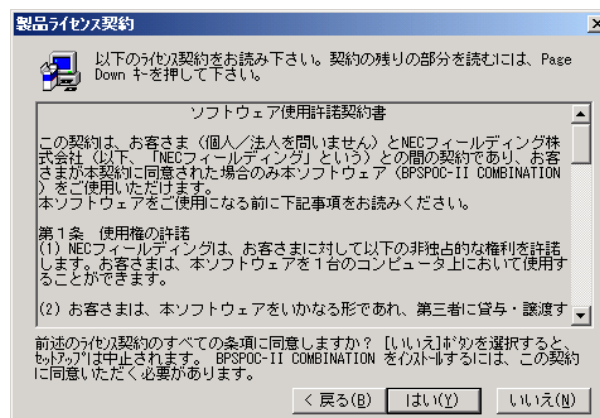
- (1) BPSPOC-II COMBINATION の CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
- (2) タスクバーより [スタート] - [ファイル名を指定して実行] メニューをクリックします。
- (3) [名前] ボックスに、BPSPOC-II COMBINATION の CD があるドライブ名、および setup を入力します。

例) **f:\setup** (CD-ROM ドライブを f ドライブとした場合)

- (4) [OK] ボタンをクリックすると [ようこそ] ダイアログボックスが表示されます。



- (5) [次へ] ボタンをクリックすると「製品ライセンス契約」ダイアログボックスが表示されます。

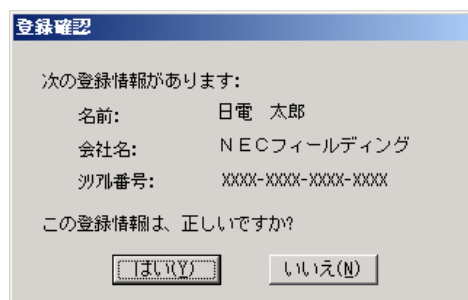


## インストール

- (6) [はい] ボタンをクリックすると [ユーザの情報] ダイアログボックスが表示されます。名前、会社名、シリアル番号を入力してください。シリアル番号は、CD ケースの裏側に貼られています。



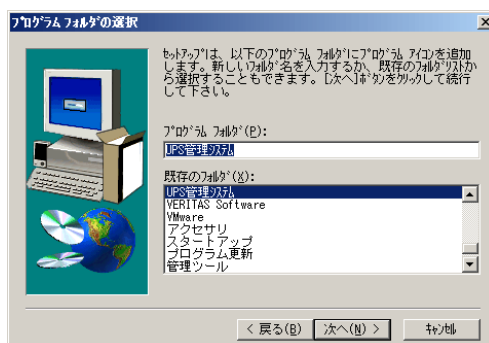
- (7) [次へ] ボタンをクリックすると「登録確認」ダイアログボックスが表示されます。内容を確認し、正しい場合は[はい (Y)] ボタン、修正する場合は[いいえ (N)] ボタンをクリックしてください。



- (8) [はい] ボタンをクリックすると [インストール先の選択] ダイアログボックスが表示されます。インストール先を変更する場合は [参照] ボタンをクリックして、インストール先のディレクトリを変更してください。



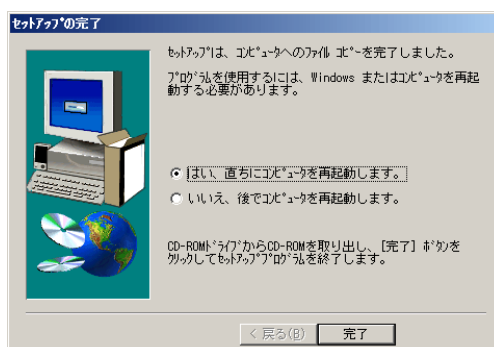
- (9) [次へ] ボタンをクリックすると [プログラムフォルダの選択] ダイアログボックスが表示されます。必要ならばフォルダ名を変更してください。



- (10) [次へ] ボタンをクリックすると [ファイルコピーの開始] ダイアログボックスが表示されます。設定内容を確認してください。



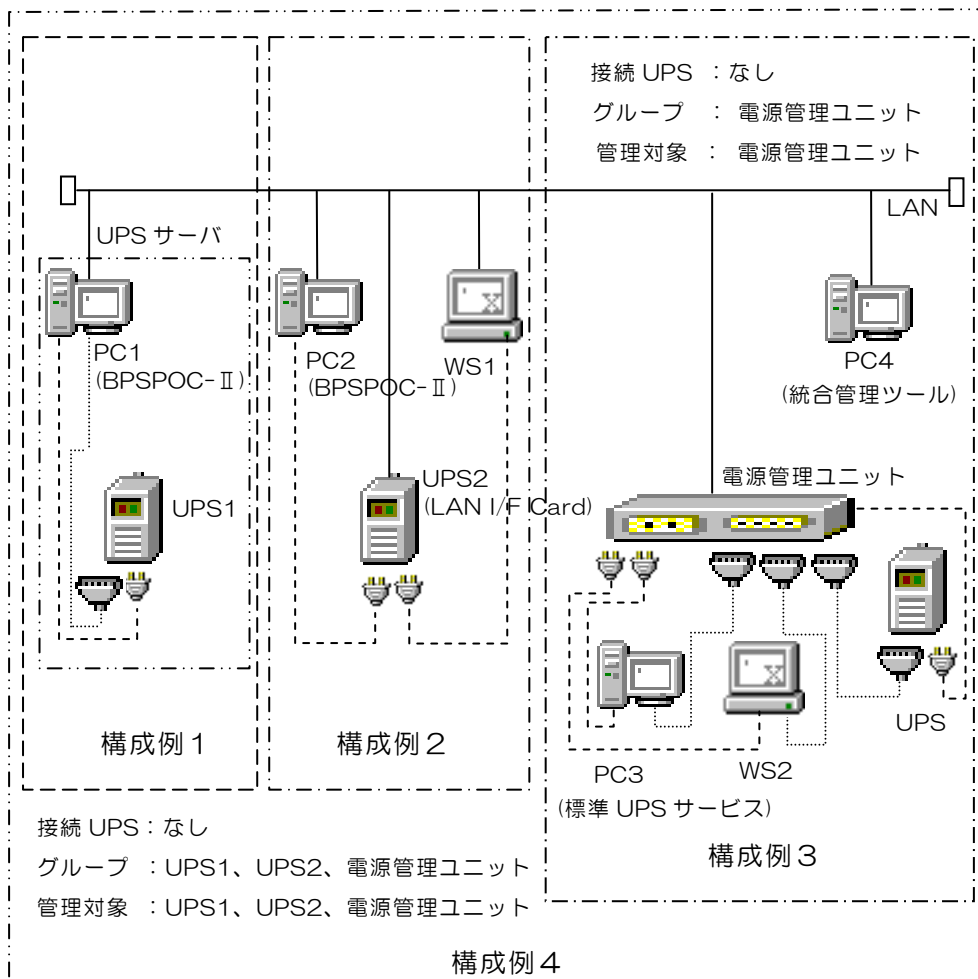
- (11) [次へ] ボタンをクリックするとPCへプログラムファイルのコピーを開始します。コピーが終了すると [セットアップの完了] ダイアログボックスが表示されます。



- (12) [完了] ボタンをクリックしてPCの再起動が完了すると BPSPOC- II COMBINATION のインストールは完了です。

## 4. システム構成例と設定例

### 4.1 構成例



**注意**

LAN 接続 : \_\_\_\_\_

シリアル接続 : .....  
 電源接続 : - - - - -

## 4.2 設定例

### (1) 構成例1 (UPS サーバ構成のPCをシャットダウンする)

構成例 1 は UPS (UPS サーバ) を構成している PC をシャットダウンします。

[設定手順]

BPSPOC-Ⅱ の取扱説明書を参照してください。

### (2) 構成例2 (LAN 接続によるWSをシャットダウンする)

構成例 2 は PC と WS が同一の UPS から電源の供給をされる場合で、ネットワーク経由でシャットダウンします。

[設定手順]

BPSPOC-Ⅱ の取扱説明書を参照してください。

### (3) 構成例3 (電源管理ユニットからPCとWSをシャットダウンする)

構成例 3 は電源管理ユニットから電源の供給をされる PC および WS をシャットダウンします。電源管理ユニットを統合管理ツールで管理します。

[設定手順]

- ① 電源管理ユニットのネットワーク設定を行います。（電源管理ユニットの取扱説明書を参照）
- ② PC4および電源管理ユニットをLANへ接続します。
- ③ PC3、WS2のシリアルケーブルと電源ケーブルを電源管理ユニットに接続し、電源管理ユニットの電源ケーブルをUPSへ接続します。（電源管理ユニットの取扱説明書を参照）
- ④ PC4に統合管理ツールをインストールします。（「3. インストール」を参照）
- ⑤ 統合管理ツールの「グループ」に電源管理ユニットを登録し、電源管理ユニットを管理できるようにします。（「5.4.2 UPS/電源管理ユニット」を参照）
- ⑥ 統合管理ツールから電源管理ユニットにPC3（接点接続）を登録します。（別紙「ユーザガイド」を参照）
- ⑦ PC3（Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003）の「標準UPSサービス」を開始させます。
- ⑧ 統合管理ツールから電源管理ユニットにWS2（WS（ログイン接続））を登録します。（別紙「ユーザガイド」を参照）
- ⑨ WS2のスクリプト設定を行います。（別紙「ユーザガイド」を参照）
- ⑩ 必要に応じて「停電確認時間」、「シャットダウン遅延時間」、「UPS自動停止時間」など変更します。（別紙「ユーザガイド」を参照）
- ⑪ UPS3、電源管理ユニット、PC3およびWS2との接続確認を行います。（電源管理ユニットの取扱説明書を参照）

(4) 構成例4（UPSおよび電源管理ユニットを一括管理する）

構成例4は統合管理ツールから複数のUPSおよび電源管理ユニットを一括管理します。

[設定手順]

- ① 構成例1、2、3を構成します。
- ② PC4の統合管理ツールの「グループ」にUPS1、UPS2および電源管理ユニットを登録します。（「5.4.2 UPS/電源管理ユニット」を参照）
- ③ 必要に応じてUPS1、UPS2、電源管理ユニットの設定および状態を管理します。



## 5. 操作方法

### 情報

統合管理ツールはオンラインヘルプに対応しています。画面毎の詳細な操作内容については、オンラインヘルプをご覧ください。

### 5.1 起動

- (1) PCへログオンしてください。

### 情報

PCへログオンしたアカウントの環境で統合管理ツールが実行可能です。ただし、「接続UPS」配下の情報は共通になります。

- (2) デスクトップ画面のタスクバー上の [スタート] – [プログラム] – [UPS 管理システム] から [BPSPOC-II COMBINATION] をクリックしてください。

### 情報

Windows Vista 以降の OS で「プログラム更新」の機能を使用する場合は、[BPSPOC-II COMBINATION] を右クリックし、「管理者として実行」を選択して起動してください。  
詳細はユーザガイド「付録 F 制約事項」の「プログラム更新について」を参照してください。

- (3) 起動モード画面が表示されますので統合管理ツールの起動方法を選択してください。  
([起動時にこの画面を表示]がチェックされていない場合は表示されません。)



#### ① ユーザモード

ユーザモード（一般ユーザ/管理者）を切り替えることにより、セキュリティ管理を実現します。それぞれのモードの違いを以下に示します。

ユーザモード	パスワード 要否	使用できる機能の制限
一般ユーザ	否	編集機能、設定変更および制御機能などは不可 <sup>(注1)</sup>
管理者	要 <sup>(注2)</sup>	制約なし

(注1) 機能詳細は、別紙「ユーザガイド」の「付録C 一般ユーザモードの制限事項」を参照。

(注2) 管理対象装置(UPS/電源管理ユニット)登録時とは別のパスワードです。

## ② 表示更新モード

ネットワーク上のトラフィックを極力小さくしたいため、必要な時以外は、通信をさせたくない場合があります。このような場合を考慮して、表示更新モードを選択できるようになっています。それぞれのモードの違いを以下に示します。

表示更新モード	機能
自動	管理対象装置と常時セッションを確立しておき、状態変化をリアルタイムに受信して表示する。ただし、アカウント認証異常時は、セッション確立できないため、一定間隔で状態を取得する。
手動	起動時に最新状態を取得するが、それ以降は、ユーザからの要求がない限り、何もしない。

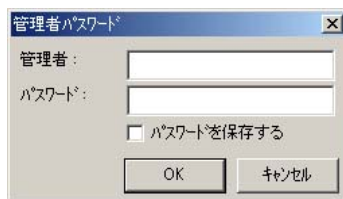
### 注意

〔手動〕選択時は、管理対象装置の状態が変化しても、自動的に画面に反映されません。画面に状態を反映させるためには、メニューバーの[表示]―[この配下から情報を更新]、または[最新の情報に更新]を選択してください。

## ③ 起動時にこの画面を表示

このチェックボックスがチェックされていると、起動時に本画面が表示されます。チェックを外すと、本画面は表示されず、起動モードの設定内容に従って起動します。設定内容を変更するには、メニューバーの[オプション]―[起動モード]をクリックして行ってください。

- (4) 管理者モードを選択した場合、管理者の認証が必要なおき（パスワードを保存していない場合）は、[管理者パスワード] ダイアログボックスが表示されます。



### 情報

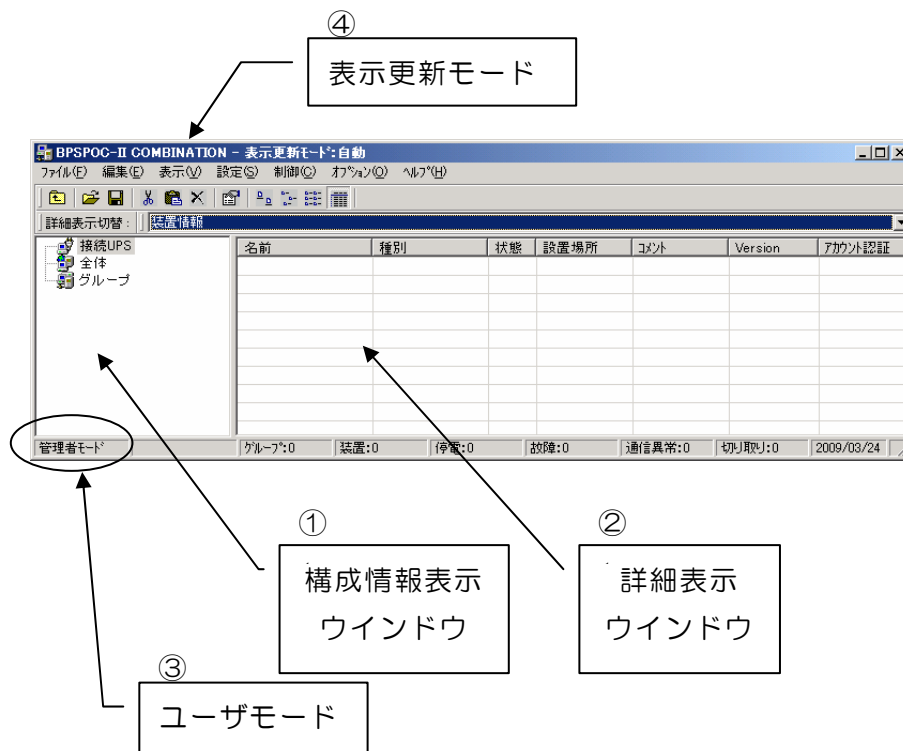
出荷時の管理者アカウントは

管理者名： admin（大文字小文字を区別しません）

パスワード： Admin（大文字小文字を区別します）

となっております。

- (5) 起動モードの設定内容により、以下のようなメインウィンドウが表示されます。



#### ① 構成情報表示ウィンドウ

構成情報表示ウィンドウには、この統合管理ツールで管理されるUPSおよび、グループを示すフォルダが表示されます。基本となるフォルダおよび内容を以下に示します。

基本フォルダ	グループの意味
接続 UPS	BPSPOC-II がインストールされ接続 UPS が設定されている場合、その UPS を表示します。
全体	この統合管理ツールで管理している全ての UPS、電源管理ユニットおよび、その他の装置を表示します。
グループ	管理されている全ての UPS、電源管理ユニットおよび、その他の装置をグループ単位で階層化して表示します。管理対象の装置は、この配下に登録していきます。

② 詳細表示ウインドウ

詳細表示ウインドウには、構成情報表示ウインドウで選択したグループ、UPS および電源管理ユニットに含まれる UPS、電源管理ユニット、P C、WS および、その他の装置の情報を表示します。

③ ユーザモード

現在選択されているユーザモード（一般ユーザ/管理者）を表示します。

ユーザモードを切り替えるには、「5.2 ユーザモードの切り替え」を参照してください。

④ 表示更新モード

現在動作中の表示更新モード（自動/手動）を表示します。

表示更新モードを切り替えるには、メニューバーの [オプション] - [起動モード] をクリックして、設定内容を変更後、統合管理ツールを再起動してください。

**情報**

- UPS と P C との接続情報（設定情報）は対象となる UPS および P C に保存されます。
- UPS と WS との接続情報（設定情報）は対象となる UPS に保存されます。
- UPS と「その他の装置」との接続情報（設定情報）は対象となる UPS に保存されます。
- 統合管理ツールの管理対象となる UPS の構成情報（グループ情報）は統合管理ツール内部に保存されます。

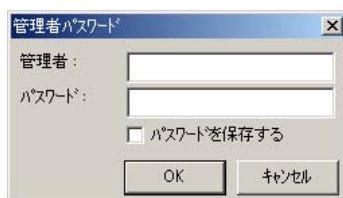
## 5.2 ユーザモードの切り替え

[一般ユーザ]と[管理者]の2つのユーザモードがあります。

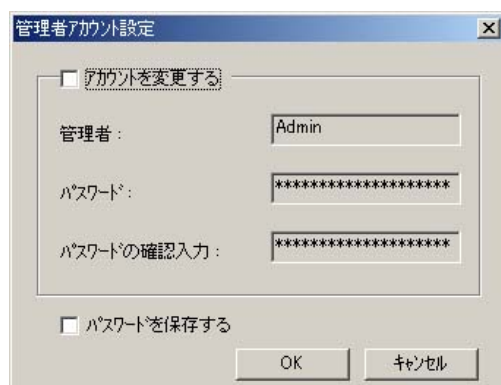
一般ユーザは、編集機能、設定変更および制御機能が使用できないなどの制限があります。（詳細は、別紙「ユーザガイド」の「付録C 一般ユーザモードの制限事項」を参照してください。） 管理者は、全ての機能が使用できます。

これらのユーザモードを切り替えることにより、セキュリティ管理を実現しています。

- (1) メニューバーの [オプション] - [ユーザ切替] をクリックすると、現在使用中のユーザモード（一般ユーザから管理者へ、管理者から一般ユーザへ）を切り替えます。一般ユーザから管理者へ切り替える際、管理者パスワードが保存されていない場合、[管理者パスワード] ダイアログボックスが表示されます。



- (2) 管理者モードの場合、メニューバーの [オプション] - [管理者アカウント設定] をクリックすると、管理者のアカウントを変更することができます。



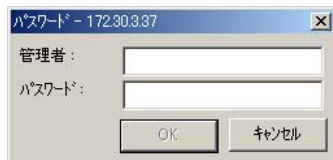
### 5.3 UPS／電源管理ユニットとのアカウント認証

統合管理ツールを利用してPCの登録や各種設定を行う場合は、UPS および電源管理ユニットの設定情報を更新する必要があります。その場合、UPS および電源管理ユニットはアカウントの認証を行います。

- (1) 設定中は、[処理状況] ダイアログボックスが表示されます。



- (2) アカウント認証が必要な場合（管理対象装置を登録する場合、保持しているパスワードが異なる場合等）は、[パスワード] ダイアログボックスが表示されます。



- (3) 管理者名、およびパスワードを入力してください。一度、アカウント認証を行うと、以後、UPS および電源管理ユニットへのアクセス時は内部的に保持しているアカウント情報を利用して自動的に認証を行います。

**情報**

出荷時のアカウントは

UPS の場合

管理者名： upsadmin (大文字小文字を区別しません)

パスワード： UpsAdmin (大文字小文字を区別します)

電源管理ユニットの場合

管理者名： mtadmin (大文字小文字を区別しません)

パスワード： MtAdmin (大文字小文字を区別します)

となっております。

- (4) アカウント情報が本ツール以外の別ツール（Webブラウザ等）から変更された場合、本ツールで内部的に保持しているアカウント情報と管理対象装置のアカウント情報が一致しなくなります。この場合、ステータスバー上にアカウント異常件数が表示されます。

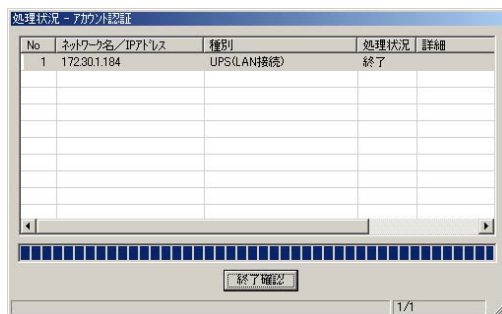


アカウント異常件数

アカウント異常装置は、  
アカウント認証欄に異常と表示されます

## 操作方法

- (5) ステータスバー上にアカウント異常件数が表示されている場合、構成情報表示ウインドウの [グループ] 配下からアカウント認証欄が[異常]と表示されているUPS または電源管理ユニットをクリックしてください。
- (6) メニューバーの [設定] - [アカウント認証] をクリックすると、再度、アカウント認証を行います。





## 5.4 管理対象装置の登録

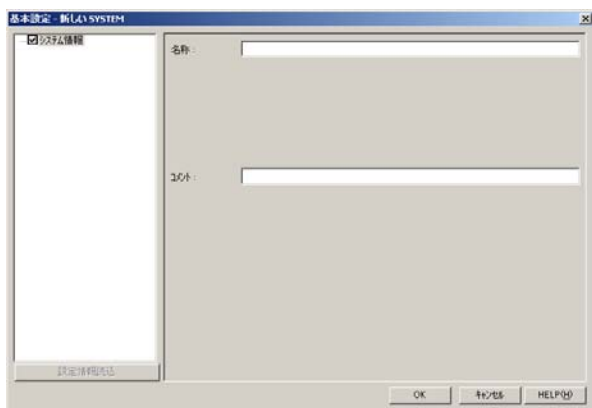
### 5.4.1 システムグループ

UPS および電源管理ユニットをグループにまとめておくことで、複数の UPS および電源管理ユニットに対して同一の設定や制御を一括して行うことができます。

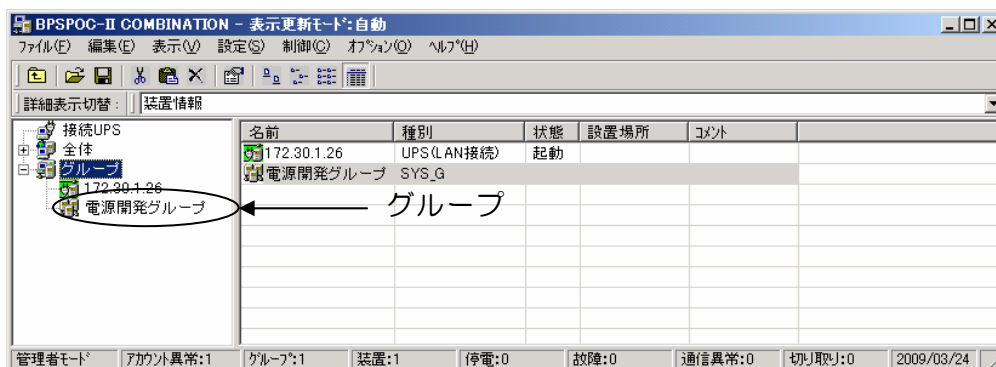
#### 情報

統合管理ツールにて管理される UPS および電源管理ユニットの構成情報は、統合管理ツールを実行しているPCに保存されます。

- (1) 構成情報表示ウィンドウにて [グループ] をクリックしてください。
- (2) メニューバーの [編集] - [登録] - [システムグループ] をクリックすると、[基本設定] ダイアログボックスが表示されます。システムグループの名称と、必要に応じてコメントを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。以上でシステムグループの登録は完了します。



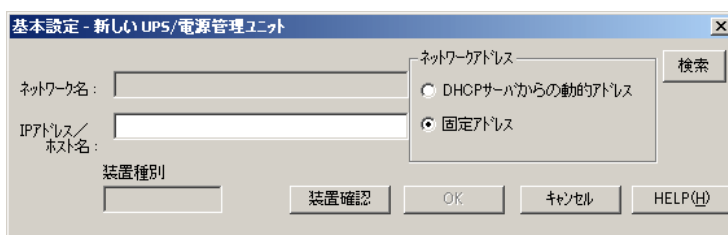
- (3) メインウィンドウにてシステムグループが登録されたことを確認してください。



## 5.4.2 UPS/電源管理ユニット

UPS および電源管理ユニットを管理するには、統合管理ツールに登録する必要があります。統合管理ツールに登録することでUPS および電源管理ユニットの設定、制御、各種情報等の管理が行えるようになります。

- (1) 構成表示ウィンドウにて [グループ] をクリックしてください。
- (2) メニューバーの [編集] - [登録] - [UPS/電源管理ユニット] メニューをクリックすると、[基本設定-新しいUPS/電源管理ユニット] ダイアログボックスが表示されます。UPS/電源管理ユニットのネットワークアドレスまたはIPアドレスを入力してください。



### 注意

ネットワーク名を指定した場合、指定したネットワーク名をDNSサーバなどによりIPアドレスに変換できる必要があります。

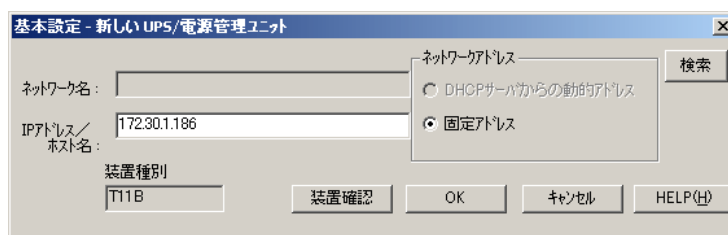
- (3) 目的のUPS/電源管理ユニットが不明の場合は [検索] ボタンをクリックするとネットワークに接続されているUPS/電源管理ユニットの一覧が表示されます、対象となるUPS/電源管理ユニットをクリックしてから [OK] ボタンをクリックしてください。先のダイアログに戻ります。（電源管理ユニットはT11A、T11Bの種別です。）



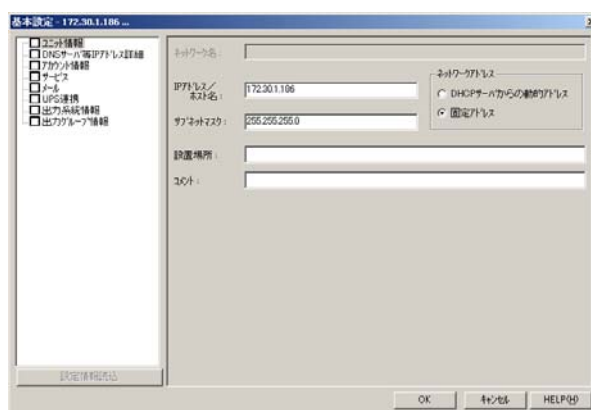
**注意**

ネットワークの構成によっては、検索できないUPS/電源管理ユニットがあります。特にルータを超えての検索はできません。その場合、[基本設定-新しいUPS/電源管理ユニット] ダイアログボックスで直接IPアドレスを入力してください。

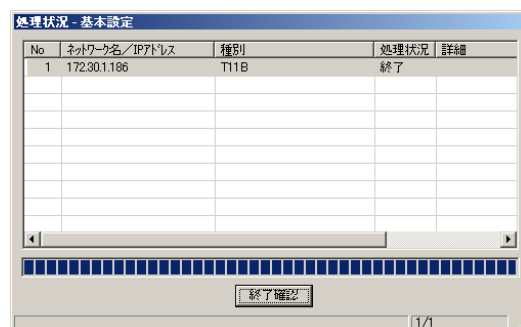
- (4) IPアドレス/ホスト名に目的のIPアドレスが設定されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックしてください。



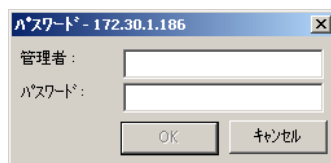
- (5) [基本設定]ダイアログボックスでUPSのネットワーク名またはIPアドレスを確認してください。また、現在の各種設定情報が表示されます。必要に応じて、設置場所、コメントなどを入力し直してください。



- (6) [OK] ボタンをクリックすると、[処理状況] ダイアログボックスが表示されます。[状態] が「終了」となった後、[終了確認] ボタンをクリックしてください。



- (7) 「[処理状況] ダイアログボックス表示中に、[パスワード] ダイアログボックスが表示されます。UPSの管理者名およびパスワードを入力してください。詳細については「5.3 UPS/電源管理ユニットとのアカウント認証」を参照してください。



- (8) メインウィンドウにて対象となるUPSまたは、電源管理ユニットが[グループ] 配下に登録されたことを確認してください。



電源管理ユニットのIPアドレス

## 6. 操作方法の詳細について

BPSPOC-II COMBINATION の操作方法の詳細については、CDに収録されている「ユーザガイド」を参照してください。

「ユーザガイド」は、PDFファイルでの提供となります。  
Acrobat Reader 7.0 以降を使用して参照してください。